

第3WG（国民生活・社会統計）審議状況（令和4年8月24日現在）

資料2

「◎」は確定、「○」は一部修正（座長一任）、「△」は継続審議

審議テーマ	課題概要	第1回 (7/26)	第2回 (8/10)	第3回 (8/22)	第4回 (9/14)	次期基本計画に関する	審議状況
						基本的な考え方（案）	
I-1 社会保障に関する統計の整備	・障害者統計の充実に向けた対応について		△			○障害者統計については、令和4年度（2022年度）中に閣議決定を予定している第5次障害者基本計画等の施策上のニーズを踏まえ、これまで調査項目の充実を図ってきた統計調査を中心に、分析に資する統計の作成・提供を推進する。（本文に記載）	基本的な考え方は了承 ＜主な意見＞（第2回） ・障害者手帳所持者の現状を把握することも重要である。 ・社会統計へのニーズなどに対応すべく、関係府省で研究を行う体制が構築できないか。 ⇒ 第3回WGで検討結果を提示予定
	・国際基準に準拠した社会保障費用統計の作成等について		◎			＜基本的な考え方＞ ○社会保障費用統計について、国際基準に準拠した地方公共団体の社会保障支出の総合的な把握に向け、引き続き情報収集や検討を行い、改善を図る。【厚生労働省；令和5年度（2023年度）から実施する。】	基本的な考え方は了承 ＜主な意見＞ ・OECDへのデータ提供の時期について早期化できないか。
I-2 暮らしや生き方に関する統計の整備	・国民生活基礎調査及び人口動態調査のオンライン調査の状況について		◎			＜基本的な考え方＞ ○国民生活基礎調査のオンライン調査の導入について、全国導入に向けた課題の整理や必要な改善を実施の上、地域別・世帯属性別のオンライン回答状況等、オンライン導入に伴う結果への影響を分析し、導入効果の検証を行う。【厚生労働省；令和7年（2025年）調査の企画時期までに結論を得る。】	基本的な考え方は了承 ＜主な質疑＞ ・保健所などの調査経路機関への負担軽減策はどういったものがあるか。 ⇒ コールセンターの設置や電子調査票による審査業務の軽減等を実施
		◎				＜基本的な考え方＞ ○人口動態調査について、統計業務の継続性確保の観点からも、オンライン報告システムの改修等を通じたデータ収集・統計作成事務の効率化に継続的に取り組む。【厚生労働省；令和5年度（2023年度）から実施する。】	基本的な考え方は了承 ＜主な質疑＞ ・オンラインシステム導入のメリットは何か。 ⇒ コロナ禍でひっ迫している保健所での作業が軽減される。
	・ジェンダー統計をめぐる状況について						
	・Well-beingをめぐる状況について						

第3WG（国民生活・社会統計）審議状況（令和4年8月24日現在）

資料2

「◎」は確定、「○」は一部修正（座長一任）、「△」は継続審議

審議テーマ	課題概要	第1回 (7/26)	第2回 (8/10)	第3回 (8/22)	第4回 (9/14)	次期基本計画に関する 基本的な考え方（案）	審議状況
I-3 消費行動を把握する統計の体系的整備	・全国家計構造調査の実施状況について		◎			○家計に関する構造統計として、関係統計との整合性を確保した上で、統計表章の充実等が図られており、次期基本計画に掲載して毎年フォローアップする必要性に乏しいのではないか。	次期基本計画における取扱いについては了承 ＜主な意見＞ ・都道府県調査もオンライン調査の対象にしてほしい。
			△			＜基本的な考え方＞ ○消費動向指数（CTI）については、家計統計を補完する消費関連の景気指標としてより有用なものとなるよう、引き続き、取組を続ける。【総務省；令和5年度（2023年度）から実施する。】 ○家計調査の公表早期化については、統計委員会において適当とされた家計消費に係る統計の一体的公表の整理に沿った対応が行われており、引き続き消費動向の正確な把握や総合的な分析に資するよう、同整理に沿った対応を行うことが適当ではないか。	＜主な意見＞（第2回） ・基本的な考え方について、景気指標に限定して記載しなくてもよいのではないか。 ・基幹統計化について検討の余地はあるのではないか。 ⇒ 第3回WGで検討結果を提示予定 家計調査の公表早期化について、次期基本計画における取扱いについては了承
II-1 雇用・労働環境の実態をよりの確に把握する統計の整備	・毎月勤労統計調査の現状と今後の改善について						
	・働き方の変化の実態把握について						
	・外国人の雇用実態を把握するための統計の整備について	△	◎			＜基本的な考え方＞ ○外国人の雇用・労働に係る統計の整備のため、具体的な検討を進めつつ、新たな統計調査を実施する。【厚生労働省；令和5年度（2023年度）から実施する。】	基本的な考え方については了承 ＜主な意見＞（第1回） ・既存の統計調査に国籍、在留資格等の項目を追加するように別途記載できないか。 ⇒ 第2回WGで上記の点を次期基本計画の本文に記載することとなった。
	・船員労働統計調査の今後の改善について						

第3WG（国民生活・社会統計）審議状況（令和4年8月24日現在）

資料2

「◎」は確定、「○」は一部修正（座長一任）、「△」は継続審議

審議テーマ	課題概要	第1回 (7/26)	第2回 (8/10)	第3回 (8/22)	第4回 (9/14)	次期基本計画に関する 基本的な考え方（案）	審議状況
Ⅱ-2 教育をめぐる状況変化等に対応し、その変化を的確に捉える統計の整備	・21世紀出生児縦断調査の今後について	◎				<p><基本的な考え方></p> <p>○21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）の調査対象者の進学等を勘案し、関係府省との調整を含め、施策ニーズに即した今後の調査の方向性や調査内容について検討する。【厚生労働省、文部科学省；令和5年度（2023年度）末までに結論を得る。】</p>	<p>基本的な考え方については了承</p> <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍等の問題がどのような影響を及ぼしたか明らかにするという意味でも縦断調査の継続は重要。 ・ いかに関係府省を維持していくかという課題に、今後も対応を続けていただきたい。 ・ 学校から就業への移行も大事な側面であり、そこに焦点を当てるのが大切。
	・学校を対象とした統計調査における統合型校務支援システムの活用について	△	◎			<p>学校保健統計調査</p> <p><基本的な考え方></p> <p>○学校保健統計調査における調査項目や調査手法等の改善について、有識者による研究会での検討状況や必要性も踏まえつつ、引き続き取組を推進する。【文部科学省；令和5年度（2023年度）から順次実施する。】</p> <p>○学校を対象とした統計調査について、各学校において導入が進められている統合型校務支援システムとのデータ連携について具体的に検討するなど、引き続き、調査の効率化及び学校の更なる負担軽減に資する取組を推進する。【文部科学省；可能な限り早期に実施する。】</p> <p>学校基本調査</p> <p>○学校基本調査については、調査事項の変更に柔軟に対応可能な汎用性のある新たなシステムへの移行状況を確認し、次期基本計画には記載しない。</p>	<p>基本的な考え方については了承</p> <p><主な意見>（第1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 統合型校務支援システムとのデータ連携により負担軽減以外にも他調査との連携、分析も図られるのではないか。この点についても基本的な考え方に反映してはどうか。 <p>⇒ 第2回WGで現行どおりで了承となった。</p> <p>次期基本計画における取扱いについては了承</p>
	・児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査について（客観性及び比較可能性の向上等）						